

報告日 令和7年10月20日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	社会福祉法人いぶき福祉会			代表者名	理事長 岡本 浩明
担当者部署(属性)	財務担当	担当者部署名	事務	連絡先電話番号	058-233-7445
担当者役職	事務長	担当者氏名	和田 善行	連絡先E-mail	
住所	502-0907 岐阜県岐阜市島新町5番9号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	岐阜市	連絡先部署	障がい福祉課 管理係
担当者氏名	高瀬	連絡先電話番号	058-214-2138

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的な課題への支援	事業名	デジタル化PROJECT
概要	当法人内の状況を見ていたい、地域情報の観点でデジタル化を推進できないか、アドバイス及び支援をいただく。		
支援を求める分野	プロジェクトマネジメント支援 働き方 子育て テレワーク 医療・介護・健康 個人情報保護		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月14日	支援・助言&フォローアップ(実地)	10時00分	16時00分	活動時間（分）
				360	
派遣場所	会場名	社会福祉法人いぶき福祉会		最寄駅	JR岐阜駅
	所在地	岐阜市島新町5番9号、岐阜市出屋敷493		最寄駅からの交通手段	当法人で用意

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	星野 晃一郎
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	当法人の職員と個別に丁寧にヒアリングをしていただき、その場でアドバイスできるところはしていただき、当法人の職員がデジタル化のイメージを持つことができました。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	10人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数			10

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	5分でできるセキュリティ診断を実施した結果、30~40点が多く、医療・福祉業種平均70.54点に届いていない。また、一部でスプレッドシートやタブレットを使ってデジタル化が出来ているが、各職員で分担して紙で対応している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	自由な当法人の働き方をコミュニティや世界に発信することで、地域の業者や住民とともに当法人のデジタル化を享受できると期待できます。具体的には、福祉事業への採用や障害のある子のエンディングノートや、当法人のあらゆる情報をインターネットにのせることで、地域参加のきっかけをつくることができます。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	職員各個人で行っている業務内容を丁寧に細かくヒアリングをしていただいた。その上で、それぞれの業務をデジタル化で結び付け、さらに、社外に情報発信出来る仕組みをつくる構想をいただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル化するところとアウトソースするところを見極め、フローを可視化することができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑤組織業務改善ができた 経理業務を簡素化し、クラウド化することで、今までその業務に携わっていた時間を地域情報化など他の業務に有効活用することが出来る。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	当法人が2拠点（車で50分離れている距離）なので、全てをアドバイザーに見てもらうことができなかつたので、今後もオンラインを使って、アドバイザーとともに解決していく。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 後日、対応した職員とダイアログする予定。ヒアリングを受けた職員には、DX化に特化したイベントに参加予定。今後もオンラインでアドバイザーとミーティングを実施する中で、内容をブラッシュアップしていく。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 今年度補正予算並びに来年度当初予算で確保しながら、推進していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	「障害のある利用者」とともに、未来を物語り、お互いにケアしあい、協働する社会をつくります。その結果、地域の誰もが孤立せず、互いのちがいを尊重しながら安心して暮らし、学び、働くことのできる「住民の幸せ」へつながっていきます。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

